

すこやかライフ

成人保健課(〒564・0072出口町19・2☎6339・1212☎6339・7075)
 保健医療総務室(〒564・0072出口町19・3保健所内☎6339・2225☎6339・2058)
 地域保健課(〒564・0072出口町19・3保健所内☎6339・2227☎6339・2058)
 国民健康保険課(☎6384・1239☎6368・7347)
 口腔ケアセンター(〒565・0862津雲台1・2・1☎6155・8020☎6873・3030)



保健所のホームページ



成人保健課のホームページ

各種 健(検)診 加入している公的医療保険の種類に関係なく受診可。65歳以上は無料。64歳以下で吹田市国民健康保険の加入者は国民健康保険課へ、市民税非課税・生活保護世帯は検診の2週間前までに成人保健課へ申請すれば、いずれも無料。☑成人保健課。

健診	内容	費用
30歳代健診	血圧測定、尿検査、血液検査など。30～39歳。	無料
成人歯科健診	☐腔内検査、歯面清掃など。30～74歳。障がいのある15～74歳の人は通年受診可。	無料
胃がん検診 ※2	胃内視鏡検査 ※3。50歳以上で今年偶数年齢になる人。	2000円
大腸がん検診	便潜血反応検査。40歳以上。	300円
肺がん検診 ※4	X線検査。40歳以上。問診の結果、必要な人のみ喀痰検査。50歳以上。別途500円。	400円
子宮がん検診	頸部細胞診。20歳以上の女性で、今年偶数年齢になる人。問診の結果、必要な人のみ体部細胞診。別途500円。	500円
乳がん検診	マンモグラフィと視触診。40歳以上の女性で、今年偶数年齢になる人。	1000円
前立腺がん検診	血液検査。50歳以上の男性。	700円
結核検診 ※4	X線検査。65歳以上。	無料
B・C型肝炎検診	血液検査。20歳以上で、B・C型肝炎ウイルス検査を受けたことがない人。	無料
骨粗しょう症検診	骨量測定。20～70歳で年齢の下1桁目の数字が今年0か5になる人。	1000円
聴力検診	6周波の聴力検査。今年50・55・60・65・70歳になる人。	500円

※1 誕生月かその翌月の受診を推奨。☑☑直接、協力医療機関へ。
 協力医療機関は市報4月号別冊と成人保健課のホームページに掲載しています。

集団検診 ※1	内容	日時	備考
胃がん検診 ※2	X線検査。50歳以上。1000円。昨年胃内視鏡検査を受けていない人。	時(1)9月5日(月)、(2)9月21日(水)、(3)9月30日(金)。	誕生月に関わらず受診可。☑保健センター。☑(1)8月22日(月)、(2)9月7日(水)、(3)9月16日(金)までに☐か、検診名、希望日、住所、名前、生年月日、電話番号を郵送かファックスで成人保健課へ。多数の場合は日程を振り替えることがあります。
大腸がん検診	便潜血反応検査。40歳以上。300円。	いずれも午前9時～11時。	
肺がん検診 ※4	X線検査。40歳以上。400円。喀痰検査は実施していません。 ※5	時(1)9月5日(月)、(3)9月30日(金)。	いずれも午前9時～11時。

- ※1 問診の状況により、市の検診として受診できない場合があります。
- ※2 どちらかを選んで受診してください。
- ※3 のど、鼻腔への局所麻酔以外の痛み止めや、鎮静薬は使用できません。
- ※4 65歳以上の人はいずれかを選んで受診してください。また、血痰のある人は検診の対象外です。速やかに医療機関を受診してください。
- ※5 50歳以上で、喫煙指数(1日の平均喫煙本数×喫煙継続年数)が600以上の人は、喀痰検査の対象となります。市内の協力医療機関で実施する肺がん検診を受診してください。



☑はこちら

その他の検査・健診

HIV・性感染症検査

HIV、クラミジア、梅毒の検査ができます。匿名。診断書は発行しません。☑月2回金曜日午前9時30分～11時30分。1人15分。結果説明は原則1週間後。☑保健所。☑各先着9人。☑電話で地域保健課へ。

国民健康診査(特定健診)

身体測定、尿検査、血液検査など。対象者には、誕生月の前月末に受診票を送ります。誕生月かその翌月に受診できない場合や、今年4月2日以降の加入者は国民健康保険課へ問い合わせてください。特定健診の代わりに人間ドックを受診した人には受診費用の一部助成制度があります。詳しくは15ページへ。☑40～74歳の吹田市国民健康保険加入者。国民健康保険の加入者は、加入している健康保険の保険者へ問い合わせてください。☑国民健康保険課。

在宅要介護者・児訪問歯科健診

年1回、自宅で歯科健康診査を行います。☑要介護者・児で通院ができない人。☑電話かファックスで吹田市歯科医師会(☎63389・6881☎63389・3338)

相談

☑へ。☑成人保健課。
 面談は予約制。☑月～金曜日。祝・休日、年末年始は除く。

健康相談

健康、食事、禁煙、生活習慣病の予防など。保健師などが電話や面談で相談に応じます。☑保健センター、同センター南千里分館。☑成人保健課。

こころの健康相談

統合失調症や気分障がい、アルコールや薬物、ギャンブルなどの依存症、認知症、ひきこもりなど。☑保健所。☑地域保健課。

医療相談

医療機関に関する相談や苦情などに応じます。☑保健所。☑保健医療総務室。

くらしの情報

☐腔ケアセンターの催し

障がい者(児)のお口のケアとリハビリテーション。歯科医師による☐腔の健康度チェックと☐腔ケア指導。☑9月25日(日)午前10時～正午。☑会場へ来所できる障がい者(児)。難病や脳梗塞後遺症がある人も可。☑先着10人。☑8月1日(月)から☑と年齢を電話かファックスで同センターへ。

ドクターメモ

熱中症について

熱中症とは、高温環境下に長時間いるときに生じる障害(めまい・気分不良・頭痛・おう吐など)の総称です。重症になれば死に至ります。注意すべきは炎天下だけではなく、熱中症になった65歳以上の60%以上が自宅などの屋内で発症しているということです。特に注意が必要なのは子供と高齢者で、体温調節機能の未熟さや衰えにより熱がこもりやすく、熱中症の気付きが遅れます。加えて最近、コロナ禍で運動の機会が減り、体が慣れていないと屋外で長時間滞在する学校活動などで熱中症になりやすくなります。

日頃少し意識することで、熱中症予防ができます。まず子供には、氷のたくさん入った水筒を持たせましょう。成人でも1日1.2ℓを目標に水分補給を心がけてください。睡眠を十分に、できる限り炎天下を避け、屋外であれば距離を保ちマスクを外す時間を設けるのも良いでしょう。日頃から少しずつ屋外

環境に体を慣らしておくことも大切です。高齢者は、室温28度・湿度70%を目安にエアコンを使用し、周囲の家族が定期的なエアコンの使用を確認することも予防になります。

また、予防していても体調が悪くなった時の目安・対処を知っておくことも大切です。まず熱中症の疑いがある場合は、第一に呼びかけに応じるかを確認してください。反応が乏しい場合や、けいれん・過呼吸の症状があれば迷わず救急車を呼んでください。応答ができる状態であれば日光を避ける場所へ移し、体を積極的に冷やして、水分補給をさせましょう。めまい・こむら返りなどの症状が持続したり、頭痛・吐き気がある場合は近くの医療機関を受診してください。自分の体を過信せず、体調不良があれば熱中症かもしれないと疑うことも必要です。

吹田市医師会 田中 敏宏